

Linux ポートスキャン用の Cisco Security Agent Denial of Service (DoS/DDoS)

Low アドバイザリーID : cisco-sa-20061025-csa [CVE-2006-5553](#)
初公開日 : 2006-10-25 16:00
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : [2.3](#)
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Linux のための Cisco Security Agent (CSA) はポートスキャンを含むサービス拒否の脆弱性が含まれています。 CSA の脆弱なバージョンを稼動するシステムに対するポートスキャンの実行によってシステムを無理解になるために引き起こすことは可能性のあるです。 Cisco Unified CallManager (CUCM) および Cisco Unified Presence Server (CUPS) は脆弱 な CSA バージョンと出荷します。

この脆弱性のための回避策があります。 シスコでは、該当するお客様用に、この脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20061025-csa> で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

次の CSA バージョンはポート スキャン問題に脆弱です:

- ホットフィックス 4.5.1.657 前の Linux のための CSA バージョン 4.5 (スタンドアロンおよび管理される)
- ホットフィックス 5.0.0.193 前の Linux のための CSA バージョン 5.0 (スタンドアロンおよび管理される)

この問題にまた脆弱である以下のシスコ製品は Linuxバージョンのためのスタンドアロン CSA

が含まれています:

- Cisco Unified CallManager (CUCM) 5.0(4) および 5.0(4a) を含む 5.0 バージョン
- Cisco Unified Presence Server (CUPS) 1.0 バージョンを含む 1.0(2)

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

次の CSA エージェント バージョンはポート スキャン問題に脆弱ではないです:

- Linux のための CSA バージョン 5.1 (スタンドアロンおよび管理される)
- Windows のためのすべての CSA バージョン (スタンドアロンおよび管理される)
- Solaris 用のすべての CSA バージョン (スタンドアロンおよび管理される)

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2006-October-25	初回公開リリース
--------------	-----------------	----------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。